

# True Peace

天國8年  
天曆 10  
2020年 曆 11





# 天の父母様が失くした理想を探して

トーマス・ウォルシュ | 天宙平和連合 (UPF) 世界議長



希望前進大会の強烈で感激的なビジョンは、危機を迎えている今日の世界が必要とする、前進のための青写真と知恵、そして世界的な観点を提供してくれます。天宙平和連合が今回の希望前進大会の主要主催団体となることができたことを光栄に思います。新型コロナウイルスによるパンデミックの時代に、全世界は混乱し、そして不確実な未来という課題に直面しています。第1回希望前進大会の際、天宙平和連合の共同創設者であられる韓鶴子総裁は、物質中心、自己中心的な利益を追求するのではなく、霊的、道徳的、利他的な理想によって和合

し前進することの重要性を強調されました。

更に、韓鶴子総裁は、共生・共栄・共義という核心的価値を強調され、この核心的価値を実践することにより今回のパンデミックの克服のみならず、世界人類が一つの家族として創意的発展のための青写真を描き、共に成長し繁栄するであろうと語られました。この言葉は、数百万の世界人の心に響きました。

このことを念頭に置いて天宙平和連合は、最近、天宙平和連合の創立15周年と文鮮明天地人真の父母天宙聖和8周年を記念して、初となるオンラインでの国際指導者カンファレンス (ILC) を開催しました。

ILC2020は、170か国、250名以上の高位指導者たちが参加する中、3日間で30ものセッションが行われ、数十万名もの世界の人々が同参しました。

ILC2020において、参加者たちは共生、共栄、共義の価値観をより深く探求し、世界が抱える難問の解決に適用できる実質的な方案を共に模索しました。

ILC2020はまた、天宙平和連合の広範囲に渡る国際的なネットワークを披露しながら、各分野の指導者たちから構成される6つの核心的な協議体を中心として行われました。前・現職国家首脳 (世界平和頂上連合、ISCP)、令夫人と女性指導者 (世界平和令夫人連合、IAFLP)、国会議員 (世界平和国会議員連合、IAPP)、宗教指導者 (世界平和宗教人連合、IAPD)、言論人 (世界平和言論人連合、IMAP)、学術人 (世界平和学術人連合、IAAD)、そして経済人 (世界平和経済人連合、IAED) グループです。

全世界は、天宙平和連合と希望前進大会が、全人類が探している意味、洞察、分析、そして革新を提供してくれることを認めています。このような歴史的な業績は、天宙平和連合の共同創設者、文鮮明・韓鶴子総裁ご夫妻の献身によるものです。

文鮮明・韓鶴子総裁ご夫妻は、天の父母様であられる神様に侍り、歴史の人類の希望となる平和と和合の世界を成すために、数十年間、血と汗と涙はもちろん、全ての資源と情熱、創造力と真心を投入されてきました。このような和合した平和の世界では、韓鶴子総裁の自叙伝『人類の涙をぬぐう平和の母』の表題の通り、神様が人類の涙をぬぐって下さることでしょう。これこそが、私たちの夢であり、希望であり、今回の希望前進大会がその日の到来を引き寄せることを心から信じています。ありがとうございました。🌸

## CONTENTS



04

### 巻頭言

- 02 天の父母様が失くした理想を探して

### PICTORIAL SECTION

- 14 天寶大祝祭

### 平和メッセージ

PEACE MESSAGE

- 22 共に荒野を通過する道

PEACE MESSAGE

- 23 この地に真の平和が宿ることを

歓迎の辞

- 24 共生・共栄・共義は世界の和合を成すことのできるビジョン

祝辞

- 25 善のための強力な力

祝辞

- 27 共にあるからこそ私たちは克服することが出来る

### 神国家復興

- 28 青年運動の飛躍のための2つの任務



08

### 真の父母様のみ言

- 04 神様の祖国と平和王国時代

- 08 第2回神統一世界安着のための100万希望前進大会 特別演説 人類平和一家族の実現方案

- 10 天勝殿グランド奉献及び韓園チブ奉献 記念午餐のみ言 天の父母様が休んでいかれる所、韓園チブ

- 12 未来指導者特別集会のみ言 天一国時代の摂理完成の中心

- 31 希望前進大会勝利のための神アフリカベナン神氏族メシヤ活動

### 統一武道コラム

- 34 真の父母様が明らかにされた、武道の価値  
\_\_誠道苑

### 心情文化コラム

- 37 聖歌・讚美歌のルーツを探る  
\_\_天野照枝





# 神様の祖国と平和王国時代

第三イスラエル平和の王戴冠式および平和大使授賞式  
二〇〇四年三月二十三日 | アメリカ、ワシントンDC、国会議事堂上院議員会館



500余名の世界指導者たちが参加した行事会場で真の父母様は、ユダヤ教・キリスト教・イスラム教の聖職者たちと、アメリカ上院議員、世界平和超宗教超国家連合の指導者たちから平和の王冠と龍袍を奉呈され、平和の王として即位された。

尊敬する上下両院の議員、世界各地から来られた宗教指導者、そして内外の貴賓の皆様。公私共に御多忙でいらっしゃるにもかかわらず、きょうこのように満場の盛況を呈してくださったことに対して、深く感謝いたします。

皆様。今日、人類が直面しているすべての問題は、万有の父母であられる神様をはっきりと知り、正に私たちの家庭において、その神様に侍って暮らす真の家庭を完成するところから解決していくのです。観念的な次元の神様ではなく、実体の父母であられる神様を私たちの家庭にお迎えしなければならないというのです。そのために私たちは、まず神様と人間の関係を確立しなければなりません。神様は、真の愛、真の生命、真の血統の本体であられ、すべての人間の真の父母であります。

#### 本然の完成人間は 自動的に天国に行く

本来、人間の墮落がなかったならば、人間は、神様の真の愛の中で完成し、神様を父母として侍って暮らす真の子女になっていました。完成した人間は、神様の愛の中で、真の夫婦の関係を結び、真の子女を生んで養育し、共に天国を形成して暮らしたのちに、家族全員が一緒に、自動的に天上の天国に入って暮らすようになっていたのです。

考えてみてください。もし皆様の家族の中で、父親は地獄に行き、母親だけが天国に行くとするれば、それがどうして天国でしょうか。父母は地獄に行き、子女たちだけが天国に入っていくとするれば、そこがどうして天国と呼ぶことができるでしょうか。天国は、すべての家族が一緒に入っていく、永遠の平和王国を完成して暮らす所です。したがって、地上においても、家庭天国を完成して暮らす所に神様が臨在されるのであり、神様が理想とされた創造理想の世界、すなわち地上天国が定着するようになるのです。

#### 地上で家庭天国を完成する道

それでは、地上における家庭天国は、どのようにして完成するのでしょうか。第一に、家庭を形成するすべての要員は、個性完成しなければなりません。墮落によって選択の余地もなく相続するようになった墮落性を脱ぎ、自らの人格を完成しなければなりません。

すなわち、心と体との葛藤と闘争を完全に克服して勝利し、一心、一体、一念の境地となり、人格完成によって完全一和の世界が実を結ばなければならぬのです。このような境地に到達した人に、ねたみ、嫉妬、欲心、憎悪など、あらゆる悪の要因となる墮落性は二度と根を下ろすことができません。

しかし、このような墮落性を脱いでしまふことは、決して簡単なことではありません。長くて数年、あるいは数十年間しみついた習慣である酒やたばこを断つことさえも、挫折を繰り返すのが墮落人間の姿です。数千、数万年間しつこく血統をたどって根ざしてきた墮落性を脱ぎ捨てるのが、どうして簡単なことでしょうか。

人間の努力だけでは、絶対に不可能なことです。神様を絶対信仰の基準で縦的な軸として立てて侍り、生涯身もだえしても難しい闘いです。神様を自分の父母や子女以上に絶対的に愛するそのような境地において、真の父母である神様に侍っていかなければ、考えることすらできないのです。神様のみ前に命までも差し出して従わんとする絶対服従の基準に立たなければ、絶対に勝つことができない闘いなのです。

歴史的に主要な宗教の教えの中には、断食、禁欲、犠牲、そして苦行を修道の基本としている理由が、正にここにあるのです。天が共にあり、霊界が協働できる換骨奪胎した新しい人の姿に再び生まれ変わらなければなりません。山川草木の前に裸で立っても、一点の恥ずかしさもなく、サタンの前に立てば、サタンがかえって逃げていかざるを得ない

「正午定着」の人格を備えた、すなわち永遠に一点の影もない真の愛の人格を備えた人にならなければなりません。

#### 天国は四大心情圏を完成した人たちが行くところ

第二に、このような人格完成を達成した個々人が集まって真の家庭を築き、その家庭の中で家族全員が共に四大心情圏を完成しなければなりません。

そのような家庭は、心と体が完全一体を完成した一人の姿と同じです。天国は、家庭単位で入っていく所だと言いました。しかし、家庭といっても、どの家庭もみな自動的に天国入城の資格を得るというわけではありません。真の家庭の基台がなければ、四大心情圏を完成する足場がなく、また四大心情圏を完成した真の人たちが、神様を中心として父子の血統をもつ家庭であってこそ、天国に入っていくことのできる真の家庭になるのです。

それでは、四大心情圏とは何を意味するのでしょうか。本来、神様の真の愛と真の生命、真の血統によって連結された真の家庭の中で、祖父母、父母、子女を中心として、三代の純潔な血統を立て、父母の心情、夫婦の心情、子女の心情、兄弟姉妹の心情を完成するとき、これを総称して四大心情圏の完成というのです。

ここで、父子の愛は上下の関係を立てる縦的關係であり、夫婦の愛は左右が一つになって決定される横的關係であり、兄弟間で与え合う愛は前後の関係を代表するのです。

神様の創造理想は、このように、観念的で、望みとして残るだけの夢ではなく、真の血統を中心として、四大心情圏の完成した、家庭を単位として実体的に完成するのです。父母の心情圏とは、父母が子女を生み、真の愛で育て、教育する過程において、自然に得られる心情、すなわち父母として子女に対する真の愛の主人となることのできる心情を意

味するのです。子女がいなければ、誰も父母として愛の主人の位置に立つことはできません。

次に、夫婦の心情圏とは、夫婦が生活を通してお互いを愛の主人の位置に立ててくれたことを感謝しながら、真の愛を与えたり受けたりする中で体恤する真の血統的心情関係を意味します。

夫は、自分の命を犠牲にしても妻のために生き、妻は、夫に対して神様に侍る心情で侍って暮らすときに、夫婦は共に真の愛を体恤するようになります。この真の愛の体恤の上で、初めて夫婦の完成も可能になるのです。

神様の祝福を受けて結ばれた夫婦が、初夜に愛を交わすその瞬間は、神様から真の愛の王宮、真の生命の王宮、真の血統の王宮を相続する場です。妻は、夫を通して理想的な、神様の息子を迎える位置、天の兄を迎える位置、天の夫を迎える位置、天の父母を迎える位置に立つようになるのです。

夫も、妻を通して同様な位置に立つようになります。神様の主要な属性は、絶対、唯一、不変、永遠です。したがって、夫婦の心情圏を完成すれば、夫婦の関係も絶対、唯一、不変、永遠の関係となるので、そこには離婚という単語が存在できないのであり、相互間に尊敬と愛だけが咲く、幸福な生活が約束されるのです。

### 真の愛の三代圏が天国の基本モデル

次に、子女の心情圏とはいかなるものであり、またいかにして得られるのでしょうか。家庭では父母が中心となります。家庭における父母の位置は、神様の位置です。父母なくして生まれた子女というのはあり得ません。

したがって、父母と子女の関係は、人間の意志で規定される人倫の次元を超え、天倫が結んでくれる関係であると言わざるを得ません。

ですから、父子の関係は、横的關係ではなく縦的關係なのです。人間の努



真の父母様は「世界が神様の真なる家庭として溢れるその日まで、先頭に立って走ることを」強調され、揮毫を書かれた。

力を変えることもできる運命的関係ではなく、絶対的で永遠の宿命の関係なのです。子女は、父母を縦的な神様の位置に迎えて暮らしながら、真の愛の心情を学び、体恤するようになります。

父母から相続された愛と生命と血統が、神様が根源になっていることを自然に学んで身につけるのです。このように父母の生き様を見て学んだ子女たちは、成長して、墮落性とは無関係な真の夫婦となり、そののちには、彼らも真の父母の位置を獲得するようになります。このように、真の愛の心情を中心として三代圏を引き継ぎながら反復する家庭単位の球形運動が、正に天国建設の基本モデルになるのです。

最後に、兄弟姉妹の心情圏は、真の父母に侍って一家族を形成して暮らす兄弟と姉妹が、真の愛に基づいて神様と同じ心情圏を形成することを意味します。

先ほど、兄弟姉妹の関係は、前後の関係を代表すると話しました。真の愛を中心として真の夫婦となり、真の人生を生きていく真の父母に家庭で侍って暮らす子女たちは、兄弟姉妹間においても、自動的に天倫の秩序を守って生きる道

理を悟るようになります。

弟は兄に父親のように侍り、兄は弟に対して愛の心情で世話をしあげるといふ美しい姿です。兄が前を代表すれば、弟は後ろを代表するのです。兄が父親の立場を代表すれば、弟は母親の立場を代表するのです。このような、兄弟姉妹の心情圏の完成は、彼らが社会生活をする中においても、愛と奉仕で「ために生きる生活」を実践躬行する根幹になるのです。

### 真の家庭を立てることの重要性

尊敬する貴賓の皆様。このように、四大心情圏を完成した真の平和家庭王国の数が増え、真の平和氏族王国となり、真の平和民族王国、真の平和国家王国、さらには真の平和世界王国を完成するようになるとき、その世界が正に神様が理想とされた創造本然の世界であり、地上天国であり、きょうこの場でレバランド・ムーンが宣布する永遠の地上平和王国になるのです。真の家庭を立てることが、このように深刻で重要な天命であるという事実を、今まで人類は知らずに生きてきたのです。

しかし、今は時が変わりました。世界の至る所で、レバレンド・ムーンの教えを受け、平和王国の建設のために奮然として立ち上がる各界各層の指導者の数が、幾何級数的に増えています。たとえ命を失うようなことがあっても、必ず純潔を守り、真の家庭を築いてみせるといふ若い知性ある人たちの喚声が、天地を揺さぶり動かしています。

既に世界的に数億組の祝福家庭が送り出されており、彼らは、倫理と道徳が急速に崩れていく地球星

を守る役割を果たしています。それだけではありません。霊界では、私たちよりも一歩先に進んで、平和王国時代を力強く開いていきつつあります。

五大聖人をはじめとして千二百億組以上の祝福家庭が、昼夜を問わず地上界を協助しながら、迫りくるその一日のために準備しています。創造原理によれば、地上界で先に神様の理想世界を完成するようになっているのです。

### 真の愛の革命完遂と神様の祖国

今日の人類は、墮落の後裔ではありますが、限りない神様の愛と霊界の協助によって、今ではどのような天国が創建されなければならないのかを知るようになりました。したがって、今や霊界で成就しているこの奇跡のような出来事を鑑として、真の愛の革命を完遂する時代圏に入っているという事実を肝に銘じなければなりません。

皆様も、今からは、心の扉を大きく開き、天がこの時代に私を通して下さる天の秘密のみ言を受け入れるべき時になりました。この場に立ったレバレンド・ムーンは、皆様と同じ肉身をもって生きる一人の人間でもありますが、天の摂理から見れば、六十億の全人類を救援し、天のみ前に原状回復させる天命を受けて地上界に降りてきた神様の全権大使であることを知らなければなりません。

霊界の五大聖人たちをはじめとして、大勢の指導者たちはもちろん、マルクス



宴会会場で喜ばれる、真の父母様

やレーニンのような共産主義者たちの魁首や、地上界であらゆる蛮行と殺傷を行ったヒトラーやスターリンのような独裁者たちまでも、私の教えに救われ、心を入れ替えて新しい人に生まれ変わりました。

地上であらゆる栄華と富貴を享受していった歴代の帝王と大統領たちはもちろん、世界的な名声を博した言論人たちさえも、この宇宙史的な真の愛の革命の隊列の先鋒に立ちました。彼らはみな、レバレンド・ムーンの「真の家庭理想」の教えに新しい覚悟を誓う決意文を地上界にまで送ってきています。

レバレンド・ムーンこそ人類の救世主であり、メシヤであり、再臨主であり、真の父母であると、天上天下に宣布しています。彼らの決意文は、既に地球星の津々浦々にまで響き渡っています。

尊敬する貴賓の皆様。今ではもうすべてが時間の問題です。皆様の周囲を一度見渡してください。前後左右、どこに未来を約束できる希望を見いだすことができるでしょうか。誰彼を問わず、私たちはみな、遅かれ早かれ、すべてものを子孫に譲り渡して旅立たなければ

ばならない期限付きの人生を生きているのではないですか。真の家庭理想を皆様自身の家庭において完成し、子女たちの永遠の平和と幸福を保障してあげることよりも、貴く価値あることがどこにあるでしょうか。神様が数千年間待ち続けてこられた平和王国をこの地上に建設することに、誰が躊躇するのでしょうか。

私は、もう八十五歳の老齢になりました。しかし、この崇高な天命を完遂し、地球星が神様の真の家庭で満ちあふれるその日まで、中東地域から銃声が途絶え、平和と歓喜の祝砲が響き渡るその日まで、そして、私の祖国韓半島から聞こえてくる統一万歳の声が、太平洋を越えてこのアメリカにまで響き渡るその日まで、レバレンド・ムーンは誰よりも先頭に立って走るでしょう。

世界六十億の人類を代表し、きょうこの式典に参席された高名な指導者の皆様も、レバレンド・ムーンと共に手をつなぎ、人類の念願であり、神様の創造理想である平和王国をこの地上に創建する主役になってくださることを願う次第です。ありがとうございました。🌸



# 人類平和一家族の実現方案

第2回神統一世界安着のための100万希望前進大会 特別演説  
天一国8年天曆8月11日(陽曆2020年9月27日) | 清心平和ワールドセンター

尊敬する前・現職元首、各界指導者、そして天の父母様聖会の中の、摂理の完成のために走っている宗教団体責任者、祝福家庭の皆さん、愛しています！

季節はいつの間にか(秋が)近付いてきました。あと4日後には最も大きな名節である(天曆)8月の中秋になります。韓民族は農耕文化民族として、まず天を崇拝し、秋を迎え、豊穰な穀物を与えてくださった天に感謝し、ご先祖に侍ってきました。父母と兄弟たちが集まり、丸い月を眺めながら、将来やってくる太平聖代のために愛を施して分け与える、とても美しい風習を持った民族です。

私たち人類は、いつ、本然のその位置を取り戻すことができるのでしょうか。全世界で起きている、予想のできない天災地変、特に新型コロナウイルスの大拡散は、いまだに進行中です。これが今回で終わるものではないことを、私たちは心配しています。

**天の警告を悟らなければならない時**  
創造主・神様とは関係のない利己主義、自己中心な欲心により、人類歴史は葛藤と戦争の歴史でした。今日もその戦争は続いています。しかし、人類は必ず元の位置に帰らなければなりません。

そのためには、宇宙の中心となる創造主・神様が、人間の父母になろうとされておられることを、悟らなければならないのです。予想できなかった新型コロナウイルスだけではなく、気候変動によって、集中豪雨や強力な台風、山崩れ、山火事が絶え間なく世界のいたる所で起きています。人間が生命を維持するにおいては、太陽と水と空気が絶対に必要です。しかし今日の現象は、文明の発達と科学の発達によって、生活が楽になったのかもしれませんが、予期せぬことです。二酸化炭素、大気汚染物質、これは、未来において私たちの愛する子女たち

が健康な生活を送ることができるのだろうかという、心配が大きいのです。

今日を生きている人類は、これ以上の分裂と、一つになれない欲心を捨てなければなりません。特に今回、最も大きな被害を受けた国があるとすれば、アメリカです。中国です。どのようにしなければならぬでしょうか。民を愛する指導者であれば、このような困難に直面して、多くの人命被害と財産を失ってしまう事態に人間中心では解決できる方法がないので、天の声を聞かなければならないのです。

科学の発達、創造の順理（道理）についてみる時、バランスを失ってしまいました。天地万物は創造の循環法則のおおりに進んできています。人間が妨害をしてはいけません。人間が無知な立場、本然の価値を失った立場では、人間の未来はもちろんのこと、この地球の未来も保障を得ることはできません。私はこれ以上、天が待ちわびながら耐え忍ばれるお姿を見ることはできません。世界の指導者はひざまずいて、天の声を聞かなければならないのです。

本来、墮落しない人類は、永遠性を持って創造されました。創造主は私たちの父母であられます。父母の前に進み出ることのできない人類になったということです。今からでも心を正し、父母様を探し求めて出会ってこそ、人類の未来があり、地球の未来もあるのです。私は、この地球の大陸の40パーセントが砂漠化していくという話を聞きました。心痛いことです。生命が生きていくにおいて、最も貴い空気の供給が脅かされています。それで私は、13億の人類を持っている中国に話したいのです。多くの人口と面積を持っている中国（さらにはモンゴル）の中にあるゴビ砂漠を、科学技術で緑地化することができれば、領土を広げるために莫大な資金を投入することを、砂漠を緑地化するのに使うなら、これがどれほど祝福であるのかを悟らなければならぬでしょう。

世界のすべての国々が、創造主である天の父母様の子女になるその日、天の父母様に侍る、真正なる人類一族になるでしょう。200余りの国々が天の父母様のもと、ひとつの兄弟姉妹として幸福に暮らすことのできるその日が来ます。きょうを生きている世界の指導者と人類が決断して、天の声を聞いて、ひまわりのように整列された国々となり、真正なる人類平和一家族になり得るその日が来れば、すべての問題が解決されます。

考えてみてください。すべての国々が自分の国を守ろうとして、軍事費に天文学的な金額を投入しています。そのお金を10分の1でも国の民のために使うことができたなら、そのような豊穰な国になれば、戦争を考えることができるのでしょうか。戦争をせずとも豊かな国になるのに、どうしてわざわざ血を流しながら、もっと欲を張らなければならないのでしょうか。天は私たちに最後の警告を何度も与えられました。これからはもう先延ばしにできません。悟らなければなりません。

#### 地球環境保全は天の父母様の子女としてしなければならない道理

韓民族は中秋の名月を仰ぎ見ながら天を崇拜し、離れ離れになっていた兄弟姉妹たちが集まり、天と父母の前に感謝しながら、隣人と一つになって暮らしてきました。そのような世界が、心配と懸念のなくなる、地上天国ではなくて何というのでしょうか。言い換えれば、天は私たちのためにこの美しい地球を創造してくださいました。今まで墮落によって親不孝をしてきた人類が、これから天に侍る位置で悔い改め、本然のその姿を探してさしあげようと努力するその日が、真正なる人類平和と人類一族の日であることを肝に銘じてください。

私はアメリカをお願いします。アメリカは神様が祝福した国であることは間違いありません。アメリカだけのための祝

福ではないのです。天はアメリカの基盤を通じて世界人類を抱こうとされました。そしてキリスト教基盤として、今日のアメリカは天の父母様を迎える位置に立たなければならないのです。どうして、人間の無知によって、破壊された地球を捨てて、宇宙に行くという考えをするのですか。すべての科学技術を通じて、まず私たちが生きているこの地球を創造当時の本然の状態に戻すことが、天の父母様の子女として行うべき道理であると考えます。

創造主・神様を思う時、私たちは自然を愛さなければなりません。私がこの天正宮（博物館）の庭園を（はじめに）散策する時、ハチやチョウをあまり見ることができませんでした。それで私は、庭園を手入れして、花を育てるようになりました。するとどこから飛んで来たのか、数十種類にもなるハチたちが飛んで来て蜜を吸っていました。どれだけ待ったことでしょうか。その自然の姿を見るとき、人間の無知が、人間の考えがこのように変えてしまったということなのです。私たちは今まで自然に対する管理をあまりにも誤りました。季節が変わり、朝夕には肌寒くなりましたが、ハチたちは懸命に働いています。私は、私たちの山や川が、世界のすべての国々が、自然とともに幸福に暮らすことのできる地上天国を、指導者の皆様とともにつくっていただけるよう懇切に願います。

77億になる人類が、2050年になれば100億人を超えと言われます。ところが気候変動により、人間が暮らすことのできる地域はますます減っています。今やこれ以上の欲心を捨て、本然の息子・娘として、さらに手遅れになる前に、この美しい地球を回復しなければなりません。天の父母様が「私がどれほど、どれほど、この日を忍耐して待ったか！それでも、有り難いな！」と語ることで、その日を迎える時まで、一生懸命に努力してくださることをもう一度お願いします。☞



# 天の父母様が休んでいかれる所、 韓園チブ

天勝殿グランド奉献及び韓園チブ奉献 記念午餐 真の父母様のみ言  
天一国8年天曆9月12日(陽. 2020年9月28日) | HJ天宙天寶修鍊苑内 韓園チブ



この建物に韓園チブ（ハヌオンチブ、한원집）と名前をつけたのは何のためでしょうか。私は天苑の園を計画し、あらゆる分野で天の父母様の夢を成し遂げて差し上げ、地上天国の姿はこうであると、見せてあげると語りました。それで一つ一つ計画したとおり、今実践しています。これらがすべて完成すれば、天の父母様がこの美しい園を散策される際には、途中で少し立ち寄り、休まれながら山川草木を眺めて「ああ、私がこんな経験をできるように、私の愛する子女たちと一緒にいられるようにしてくれた真の父母に感謝する」という心で休まれながら、お茶もお飲みになり、おいしい餅も召し上がって、また時間によってはおいしい料理を楽しむことができる場所です。

初めはこの場所が狭くて小さいので、「こんなに雄大な韓園チブが建てられるだろうか。亭子（ていし。あずまやの意）の概念で建てればどうだろうか」という

考えもしたのですが、四つの季節のすべてにおいて天の父母様をお迎えしたいという心が生じました。それで結果的にはこの「韓園チブ」を創ることになりました。韓園チブは天の父母様が休まれる場所、休んで行かれる場所、自然を眺められて幸福に満たされる場所です。

それでここは、四方すべてにミミズクを立てなさいと言いました。ミミズクは世界の人々が皆愛する鳥です。高句麗時代には三足鳥（サムジョゴ）と言って、（三足の）カラスを象徴し、李氏王朝（朝鮮時代）のときには、カササギです。それで「カササギ、カササギ、お正月は〜」という童謡もあります。天一国時代にお

いては、24時間愛する子女たちを保護し、またすべての不遜なことを阻（はば）んでくれて、福を持ってきてくれるミミズクです。それでこの園を中心として、ここは「富興（ブフン）マダン※」（부흥마당）と私が名前をつけました。それでこの中で、レストランとか、すべての施設が入るようになりますが、HJ 富興水辺カフェ、このような形で「HJ 富興」という名前が入るようになります。

この韓園チブこそ、歴史以来初めて生まれたもので、韓国は真の父母様が誕生した国でもあり、またこの自然環境にやさしい建物でもあるので、皆さん、たくさん利用していただき、愛してください。🌸

- ① 左から、祝辞を述べる文妍娥UPF韓国議長と鄭元周総裁秘書室長、司会を務める尹鏞鎬世界本部長、今後各種晩餐会場となる韓園チブ奉獻式で祈禱を捧げる李基誠神韓国天議苑長・天心苑長。
- ② 韓園チブを聖別される真のお母様
- ③ 韓園チブを建てるにあたり重要な役割を担ったクォン・チャンスン教授
- ④ 鮮文大留学生たちが折った2027羽の折鶴を伝達した左から、高木誠治講師、横井稔明日本研修チーム長、武津建守日本研修チーム講師。
- ⑤ 左から、真の父母様に礼物を奉呈する李命官HJ天宙天寶修鍊苑苑長と李基誠神韓国天議苑長・天心苑長





# 天一国時代の摂理完成の中心

未来指導者特別集会のみ言  
天一国8年天曆8月17日(陽10.3) | 天正宮博物館

皆さんは一世、二世、三世ですか？  
 天一国時代において、摂理の完成のために、中心に独り娘真の母と皆さんがいます。信出、信興生徒が皆さんのチーム長ですね？孫であるのもそうですが、天一国時代においては息子です。ですから皆さんも私の息子・娘です。一生懸命摂理を学び、またたくさんの経験を通して皆さんこそが宝石の中の宝石であり、真珠の中の真珠です。

皆さんは一人ではありません。信出、信興は、このように移動する時、皆さんが共に一つの心、一つの志で、天に報告しながら、出発する習慣をつけてください。霊界のあなたたちの父と叔父たちが、あなた達が動くその道に共にし、より驚くべき奇跡を皆さんを通して起こしてください、協助してください、と祈れば、それがまさに結果として現れるのです。ようするに、天に報告する思いで、すべてを始めなさいという話です。

皆さんがきょう帰るという話を聞きました。ですから真のお父様がいらしゃった時に好んで召し上がられた、かぼちゃ飴をあげたいと思います。アラスカでは9月となり、10月になれば雪が降り、雨も降ります。冬にたくさん雨が降ります。真のお父様は海洋摂理のため



真のお母様が天正宮に招待された鮮鶴鮮文UPA生徒たちが真のお母様に花束を贈呈した

に、アラスカで多くの時間を過ごされたのですが、冬ではありますが、重ね着できる服はすべて重ね着して出ていかなければなりません。雨具まで着る位、とても寒いのです。寒い中で役に立つのは、熱量を出すことのできるそのような飴が必要です。今でもそのような飴のようなお菓子があるかはわかりませんが、名前は覚えています。「Werther's Honey」です。それをお父様と周りの人々には私が買ってあげたので、皆美味しく食べました。

韓国に来てみると、鬱陵島（うるんどう）のカボチャ飴があります。それでそれを差し上げたところ、本当に気に入

られ、いつも糖分が必要だという時にはお召し上がりになりました。それを書斎にずっと置いていたのですが、きょう皆さんが来るという話を聞いて、それを全部持ってくるように言いました。責任者が出てきて受け取ってください。恐らく皆さんに3～4つずつ渡されると思います。

甘いので美味しく食べて、これまであったことを思い返しながら、皆さんのお母様が素敵でしょう？「はい！」いつも考えてください。話はここまでにしましよう。そして皆さんが帰る時にハンバーガーを注文したので、食べながら行ってください（拍手）。☞



天正宮で真のお母様に謁見した学生190人がハートポーズで世界への愛を表現した

第2回神統一世界安着のための100万希望前進大会





③

① 清心平和ワールドセンターから世界各地の参加者に向けてみ言を語られる真のお母様

② 希望前進大会の演説者：ムニブ・ユナン元ルーテル世界連盟議長、カルヴァン・フェリックス枢機卿、トーマス・ウォルシュ 天宙平和連合(UPF)世界議長、グッドラック・ジョナサン元ナイジェリア共和国大統領、ダン・バートン元米下院議員、ホセ・デベネシア元フィリピン国会議長、ジョゼ・マヌエル・バラオズ元欧州委員会委員長、ディック・チェイニー元米国副大統領、エバリスト・カルバリョ サントメ・プリンシペ大統領、ダン・クエール元米国副大統領、ヘン・サムリン カンボジア国民議会議長、ユースフ・ギラーニーパキスタン元首相

③ 花束を奉呈する、文妍娥UPF韓国議長と尹晶老UPF平和大使協議会会長

④ UPF創立15周年を祝賀する、ケーキカット

⑤ 特別演説後、世界の人々の歓声の中で退場される、真のお母様



④



⑤

# 天勝殿グランド奉獻式



- ① 真のお母様がボタンを押すと除幕布が引き落とされ、彫刻像が披露された
- ② 基元節宣布勝利の場面を形状化した彫刻像
- ③ 真のお母様に花束を奉獻する鄭元周総裁秘書室長とキム・ジョンガン孝情グローバル財団理事長
- ④ この日の司会を担当した、尹煥鎬世界本部長
- ⑤ 高さ21メートル、幅20メートルに及ぶアーチ型凱旋門形状の天一門。内部には去る7年間の勝利の聖業を記念するために特別に製作された、サンドアート映像館がある。



# 韓園チブ奉献式および特別午餐



- ① 勝利提議をした文妍雅UPF韓国議長、司会を務めた尹世界本部長、祈祷を捧げる李基誠神韓国天議苑長、億万歳三唱をする李現榮副会長
- ② 尹世界本部長が壇上で話す間、韓園チブ
- ③ 天の父母様が休んでいかれる所、天の父母様の幸せが留まるところとして韓園チブを奉献して下さった、真のお母様
- ④ 天一国8年天地解怨秋夕節の祭壇にろうそくを点火する、文妍娥UPF韓国議長と文薫淑会長
- ⑤ 秋夕節の茶礼で献酒される、文信出様
- ⑥ お月見をされている、真のお母様と真のご家庭、天一国指導者と未来指導者たち
- ⑦ 天一国国立大学神学科の3、4年生で構成された、青年世界本部チームと鮮鶴鮮文UPA生徒たちに、名節のプレゼントを下賜される、真のお母様



文鮮明天地人眞の父母天宙聖和8周年記念天寶大祝祭  
 天地人眞の父母聖誕100周年・天宙聖婚60周年記念2020特別祝福式





- ① 人類歴史上初めて、天寶大祝祭が奉獻されたことを喜ばれる真のお母様
- ② 天寶に入籍する天寶家庭たちの聖なる名布である、天寶聖布が真の父母様に奉呈され、真の父母様は世界の天寶入籍家庭に天寶牌と天寶ショールを下賜して下さった
- ③ 司会を務める尹煥鎬世界本部長
- ④ 7つの大陸と世界の宗教を代表し、平和祝願式と合水式を行った、神韓国7教団の代表たち
- ⑤ 億万歳三唱で天寶大祝祭の勝利を奉獻する、参加者たち
- ⑥ 真のお母様と信出様、信興様とともに歌を歌われる文信汝様
- ⑦ み旨に従った、天寶家庭の労苦をミュージカルで表現し、心の琴線に触れた
- ⑧ 祝辞を述べるサムエル・ハデベ預言者、パマンダ・ザー元ネパール大統領、ダン・バートン元米下院議員夫妻、アレキサンダー・ンゲデ元中央アフリカ共和国大統領、ヌヴェール・ムンバイ元ザンビア副大統領
- ⑨ 真の父母様の特別祝福と恩賜祝福の恩寵により、2020特別祝福式が行われた
- ⑩ 韓国とアメリカ、日本、ドイツ、フランス、フィリピン、オーストラリア、スーダン、ニジェールなど約40カ国から参加した、700双の善男善女たちと、特別に真のご家庭の文善進様家庭の長男であられる、文信福様の祝福が成就した



天地人真の父母聖誕100周年・宇宙聖婚60周年記念  
 文鮮明天地人真の父母宇宙聖和8周年記念天寶大祝祭 祝勝会



- ① 케ーキ의 촛燭に火を灯される真のお母様と文妍雅UPF韓国議長
- ② 司会を務める尹煥鎬世界本部長、真のお母様の講演文を拝読する鄭元周総裁秘書室長、祈禱を捧げる李基誠神韓国天議苑長
- ③ 孝情文化公演を奉獻した、鮮文天宙平和士官学校の生徒たちとリトルエンジェルズ
- ④ 真のお母様に花束を贈呈される文妍雅UPF韓国議長と文薰淑世界平和女性連合会長
- ⑤ 全世界大陸圏域の礼物の奉呈を受けられた、真のお母様
- ⑥ 7年を勝利奉獻し、新たな7年を出発された真のお母様
- ⑦ 両手を挙げて祝賀した、億万歳三唱





# 共に荒野を通過する道

ムニブ・ユナン牧師 ルーテル世界連盟議長、2020鮮鶴平和賞受賞者  
Peace Message

イエス・キリストの恩賜と、神様の愛と、聖霊の恩寵が永遠に共にあることを祈ります。アーメン。

使徒パウロは「わたしたちは、御霊の助けにより、信仰によって義とされる望みを強くいただいている。」(ガラテヤ人への手紙 5章5節)と記しています。

全世界の兄弟姉妹の皆さま、まず最初に、今回の希望前進大会を開催する天宙平和連合と、本連合のトーマス・ウォルシュ議長に深い感謝の意を表します。

そして、この意義深い希望前進大会を主管して下さっている韓鶴子総裁へ心より感謝の意を表したいと思えます。

キリスト教における希望の概念は、イエス・キリストの十字架の路程と復活を通して確認することができ、神様の世界へと至る人生を開いてくれます。

キリスト教における希望とは、歴史の紆余曲折の中において、神様が広く臨在されることを示しています。ですので、旧約聖書と新約聖書を見ると、絶望的な状況においても神様の役事を通じて、新たな希望のメッセージを見出すことができます。

宗教改革者マルティン・ルターはこう言いました。「信仰とは、信ずるべき全ての価値を見せる弁証法のようなものであり、希望とは、人が試練に遭遇した際に、神様の御心を掴み離さないよう促し説得する修辞学のようなものだ。」

神様は、私たちが怠惰な姿勢で末日だけを待ち焦がれ、非現実的な終末を想像することを望んでおられません。誤った世界の中で生きていたとしても、神様に対する生きた信仰を維持して下さいようお願いします。神様は私たちがご自身との約束を忘れず、全身全霊を注いで神様を信じ、神様が下さる驚くべき希望の力を通して、私たちの世界を正義、人権、平等、自由、和解、調和と平和が溢れる安息地に変えることを望んでおられます。更に、社会、国家、宗教の指導者と無宗教の人々も含めすべての人が、神様の召命に応え、希望の



光となり、この誤った世界に神様の正義とビジョンを実現するために協力し合うことを望んでおられます。

国連創立 75 周年を記念する今年、私たちは国連が権力層の為の期間ではなく、真理、正義、平等の礎となるよう共に協力し合うべきです。神様は、全世界の全ての宗教及び信仰団体、そして多様な宗教の信徒たちが、人類の尊厳はもちろん、人類の共通の価値である愛、希望、人権、持続可能性を拡大に協力して下さいを願い、私たちをお呼びになっています。

また、神様が創造された森羅万象、特に苦痛を受ける自然環境を正しく管理すること望んでおられます。全世界の国々は、この重大な歴史的な時に、一抹の希望を探し求めています。この希望が顕れることができるよう、私たちが貢献することができるでしょうか?私はいつも次のように語っています。

「人は食料がなくとも 3 週間は生存でき、水がなくとも 3 日

間は生き延びることができ、空気がなくとも3分は生きていられるが、希望がなければ3秒も耐えられない」と。このような重要な歴史的な時期、絶望の世界の中で希望の原動力とならなければなりません。

## 祈祷

希望の源泉であられる神様、私たちは、恐怖と絶望の中に生きています。主キリスト、イエス様の復活を通して、絶望の中にある私たちに希望を下されたことに感謝致します。

私たちに、あなたの希望が宿るよう聖霊をお送りください。私たちが正しく成長し、変化し、新しい子女として生まれ変われるよう、聖霊の役事を許諾して下さい。闇を光に、不正

を正義に、抑圧を自由に、不安と恐怖の文化を愛と信頼の文化に、憎悪を愛に、宗教紛争を宗教和解に、機会の不平等を機会の均等に、人種差別を超えて性別、人種、皮膚の色、政治的信念、宗教的信念を乗り越え、互いに神様の姿に似た子女として見つめ合えるよう、聖霊の役事を許諾して下さい。

絶望的な状況の中で、希望の原動力とならしめてください。聖霊の恩賜を受け、使徒パウロと共に次の祈祷を捧げられるようにして下さい。「どうか、望みの神が、あなたがたを信仰によるすべての喜びと平和をもって満たし、聖霊の力によって望みにあふれさせて下さいますように。」(ローマ人への手紙15章13節)

神様の祝福が皆さまと共にあり、変化の原動力となって下さることを願います。アーメン。✠

# この地に真の平和が宿ることを

カルヴァン・フェリックス枢機卿  
Peace Message

天宙平和連合の創立15周年を記念する希望前進大会に参加できることを、この上なく光栄に思います。

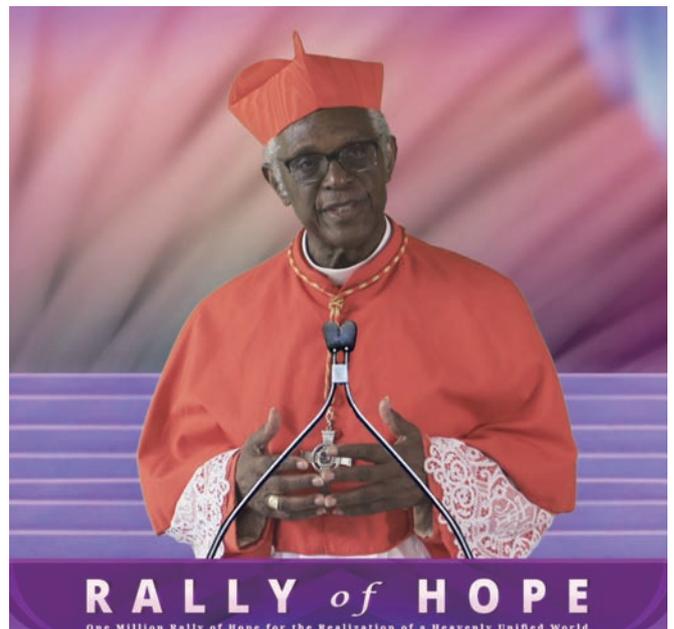
今回の希望前進大会は、私たち皆が神様の子女であり、家族の一員であり、共に世界平和のために歩むべき神聖なる使命をもっていることを、もう1度考えさせてくれます

今日、困難な状況の中で苦痛を受けている家族たちのために、限りない愛と恩賜を与え、世界平和を実現するために全身全霊を注がれる真のお母様に、深い感謝の意を表します。

また、神様が天宙平和連合を導かれ、困難と苦痛の中にある家庭に、愛の手を差し伸べることができるよう祈祷して下さい。もう1度、感謝致します。

イエス様が復活され、弟子たちの前に現れたとき、まず最初に語られた言葉が「あなたたちに平安あれ」でした。この言葉はいまだに有効です。

私たちが今日この場に共に集えたことも、この言葉によるも



のです。

平安、すなわち平和は、愛として私たちを創造され、恩賜をもって私たちを保護され、どのような状況においても私たちと共にあられる神様から来ています。神様が共にあられば、私たちは、自分自身よりもより私たちに深くご存じであられる、私たちにとって万福の根源であられる方と共にあると言えます。神様が共にあられば、人間の知恵と限界を超えた内面の平穏を探し出すことができます。

この希望前進大会に、平和と平穏の恩賜であられる神様が、私たちを招待されています。本日の演説を通して、私たちが普段感じる以上に、より神様が近くにおられることを悟らせてくれます。このように、神様を探し求める方には平穏が訪れることでしょう。

## 祈祷

祈りましょう。

父なる神よ、あなたの平和、世界の平和を探し求める子女たちが、この場に集いました。

私たちが、神様の平和の旗手となり、憎悪のあるところに愛を、傷のあるところに許しを、絶望のあるところに希望を運ぶ平和の原動力となるよう許諾して下さい。

世界中にいる兄弟姉妹、全人類にあなたの平和の御言葉を伝える子女となるよう、祝福して下さい、勇気をお与えください。主であられるキリストの名によって祈祷いたします。アーメン。✠

# 共生・共栄・共義は 世界の和合を成すことのできるビジョン

グッドラック・ジョナサン 前ナイジェリア共和国大統領  
歓迎の辞

愛する韓鶴子真のお母様。尊敬する貴賓、大統領閣下、各国の前・現職の国家元首及び首相の皆さま、宇宙平和連合トーマス・ウォルシュ世界議長、そして、紳士淑女の皆さま。今日、新型コロナウイルスのパンデミックをはじめ、気候変化、葛藤、飢餓に至るまで、21世紀の人類が直面している深刻な課題を克服するための方策を模索する今回の希望前進大会で演説ができることを大変嬉しく思います。

文鮮明総裁の聖和の後、偉大なるリーダーシップによって宇宙平和連合の驚くべき飛躍を共同創設者であられる韓鶴子総裁に敬意を表します。今回の希望前進大会は2012年9月3日、文鮮明総裁が聖和されてから正確に8年目を迎える月に開催されています。全知全能であられる神様が文鮮明総裁に永遠なる安息をお許しくださるようお祈りいたします。

また、恒久的な世界平和の実現のために孤軍奮闘する世界平和頂上連合と宇宙平和連合の指導部とスタッフの皆様

に感謝の意を表します。また、現在のような危機的な時期に、この希望前進大会に参加して下さいだった世界の指導者の皆さまに感謝の心を込めてご挨拶させていただきます。

本日の希望前進大会が開催されたこと自体が、世界的な諸問題を平和裏に克服し、国際社会の発展を促進するための世界の指導者たちの献身と情熱がどれほどのものであるかを示しているといえます。人類一家族という共通の土台の上に、市民同士の連帯を促進することができれば、より良い世界を実現することができます。

新型コロナウイルスのパンデミックは全世界に混乱をもたらしました。そして、この混乱によって、感染した人々だけでなく、家族や友人など、私たちの愛する人々が打撃を受けました。

パンデミックは医療従事者、学校に通うことができない学生、そして就学児童を持つ父母をはじめとし、愛する人々を失った人々、職を失った労働者、倒産した企業等、社会の様々な分野に影響を及ぼしました。そして、各国の医療体系は



限界を迎えつつあり、また同時に経済的失速が続いています。

ですが、今日私たちは今この時期が世界の変化の始まりであるということ、互いに激励しあうために、この場に集いました。このような時期に、私は世界平和頂上連合の共生・共栄・共義の核心価値の重要性を強調したいと思います。そして、アフリカの未来を懸念するアフリカ頂上連合の議長として、世界の指導者たちがこの核心価値に対して、深く考え、省察して下さるようお願いいたします。このような努力は紛争の終息、災害への対応、経済発展のための現実的な解決策を模索する上で大きな力となることでしょう。

今回のパンデミックを通して私たちが得た教訓は、共生を追求することの重要性です。私たちが力を合わせれば、否定的な影響を逆手にとって、肯定的で新たな発展の方策を見出すことができます。今回の希望前進大会の主催と宇宙平和連合が追求する「為に生きる人生」と頂上連合が実践する共生・共栄・共義の価値は、国際的な調和を実現するための必須要件であるために、どれほど強調してもし過ぎることはないのです。

共生・共栄・共義の価値は何を私たちに教えてくれるでしょうか？私たちが協力し、強い連帯を示せば、未来において同様の災厄が訪れたとしても、今のような状況に陥ることはないでしょう。したがって、私たちが一つとなり、和合と相互協力の精神を受け継ぎ、新型コロナウイルスによる被害を克服するために努力する国々に救いの手を差し伸べる必要があります。

私が議長を務めるアフリカ頂上連合は、世界の指導者たちがこのような「為に生きる人生」の哲学を採択し、各国で発生している紛争の解決と終息に向けて、この哲学を適用することができるよう積極的に働きかけてまいります。これによって、アフリカの国々はもちろん、全世界の国々の成長と繁栄がもたらされることを願っています。このような、「為に生きる」原理を基盤として、平和で正義に満ちた世界を実現するための努力を共に続けてまいります。

この希望前進大会によって、善い変化がもたらされることを願っています。ありがとうございました。🌟

## 善のための強力な力

ダン・バートン 前米国下院議員、IAPP共同委員長  
祝辞

尊敬する前・現職の国家首脳、162カ国から参加された内外貴賓の皆さま、きょう、この貴い希望前進大会、数百万人が見守る世界的な平和のサミットにおいて、演説をすることが出来ることを大変光栄に思います。

また、全世界を平和によって和合しようとされる韓鶴子総

裁の献身とリーダーシップに心からの感謝の意を表します。

現在、私たちは世界的なパンデミックの試練のただ中ではありますが、技術の革新によって、まるで一つのスタジアムに集っているかのように、このひと時を共にすることが出来ています。

きょう、韓鶴子真のお母様が全人類のために投入しておられる愛と労苦に共に敬意を表して下さるよう、世界各国から集った内外の貴賓の皆様をお願いしたいと思います。

私は、韓総裁のご主人であられる故文鮮明総裁を深く尊敬しております。

文総裁は、常に神様、自由、そして家庭の価値を強調され、共産主義に強力に反対されました。

また、全世界の国々が平和によって和合することの必要性を強く訴えられました。そして今、文鮮明総裁と共にあられた、韓鶴子真のお母様が宇宙平和連合とワシントンタイムズの活動範囲を急速に拡大しておられます。

その結果として、かつてない平和と家庭のための世界的な運動が誕生することとなりました。

韓鶴子総裁、真のお母様は 2016 年に世界平和国会議員連合、IAPP を創設されました。

そして、光栄なことに、私はフィリピンのホセ・デベネシア前下院議長と共に IAPP 共同委員長を務めることとなりました。

IAPP は全世界の前・現職の国会議員たちの連合であり、急速にその影響力を拡大しています。

私は 2016 年、米国を含む 42 カ国の国会議員たちが韓国に集い、IAPP を創立したその瞬間を忘れることができません。その後、私の友人であり、偉大なる指導者であるオーリン・ハッチ前上院議長の招請により、IAPP は米国の国会議事堂の上院にあるケネディ・コーカス・ルームにおいて、米国と全世界の国家議員 300 名の前で真のお母様を紹介し、平和のために力を合わせてくれるよう呼びかけました。

今日、IAPP は 120 개국、5,000 名を超える前・現職国会議員が集う連合となりました。

国会議員は各国の国民によって選出されるため、国民の心を代弁していると言えます。IAPP は現在、平和、安保、保健に関する危機を全世界にいち早く知らせ、警告することができる連絡体系を構築しています。

「感染症早期警戒連絡システム」があったならば、失われ



た多くの生命を守ることもできました。IAPP は現在、「感染症早期警戒連絡システム」の枠組みを構築しつつあり、全世界の IAPP の国会議員たちがこのシステムへの支持を表明しています。もし、新型コロナウイルスの感染拡大初期に、世界が明確な行動を取っていたならば、私たちは数多くの命を守ることができたはずで

す。IAPP の議員たちは、全世界各地で活動しているために、他の機構や団体よりも各国の状況をより早く明確に把握することができることでしょう。例えば、新型コロナウイルスの脅威は昨年 12 月 31 日に WHO へ報告がなされ、WHO は 2020 年 1 月 30 日になってはじめて、緊急事態を宣言しました。

そして、それから一月が経過した 3 月 11 日になって初めて WHO は世界的パンデミックを宣言したのです。

現在、草の根レベルの行動が各地で起こっています。韓鶴子真のお母様は、韓半島の平和統一のような国際的に影響の大きい様々な問題を解決するために、全力を投入しておられます。

韓総裁は、世界の宗教指導者、言論人、経済人、国会議員、国家首脳、令夫人たちを一つにまとめあげておられます。韓総裁と共にあれば、神様の祝福を実感し、全人類が家族であることを経験することができるのです。

世界中のどこを探しても、世界が抱える深刻な問題を解決するために、韓総裁ほど献身される方を見つけることはできません。ノーベル平和賞が掲げる高尚な理想は、生涯をかけて人類の葛藤を解消しようとされる韓鶴子総裁の静かなる献身の中に体恤されているのです。今回の希望前進大会に参加されているということは、皆様も世界の平和を願われているということを意味しています。神様の祝福が皆さまと共にあることを祈っております。ありがとうございました。🙏



IAPP発足式の後、檀上でダン・バートン 元米下院議員と記念撮影をする真の子女様家庭、韓国及び米国の指導者たち

# 共にあるからこそ私たちは 克服することが出来る

ホセ・デベネシア 前フィリピン国会議長、IAPP共同委員長  
祝辞

尊敬する国家首脳、親愛なる貴賓の皆様、新型コロナウイルスのパンデミックによる世界的混乱にも関わらず、故文鮮明総裁のように平和を実現するために 献身的な努力を続けておられる宇宙平和連合の共同創設者であり、鮮鶴平和賞創設者であられる韓鶴子総裁に敬意を表します。

世界共同体の相互理解を追求するために今回の前進大会に参加しておられるスピーカーと参加者の皆さまと、皆さまの家庭、国家に平和と平和が満ち溢れることを願っております。

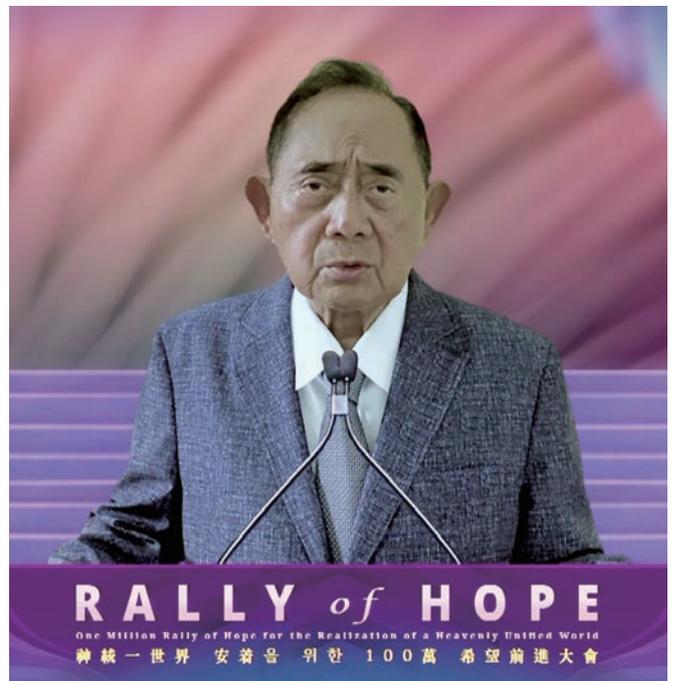
人類は皆平和を望んでいますが平和は未だに実現されていない、困難な目標です。しかし、平和を愛する私たちは、共通する問題を、権威をもって解決するために必要な人類一共同体のための新たな意識、意思と情熱、そして能力を喪失してしまったということを感じたくはありません。

また、兄弟愛、人々の協力、そして私たちの家庭は一般の共同体だけでなく、市民社会、国際社会において重要な位置を占めていると信じています。

また、宇宙平和連合と世界平和国会議員連合のような国際的の市民社会団体はより良い世界を建設し、未来の世代のための平和の礎を確立し、世界が抱える難問題と主要課題を解決するために新たなる世界秩序の基盤を築きあげています。

また、韓半島で続く対立と紛争の可能性に関して、韓半島だけでなく、アジア・太平洋地域全体の安定と安全保障の強化のために貢献する米国、ロシア、中国、日本、大韓民国、朝鮮人民民主主義共和国から構成される6者会談をASEANの支持と共に、再び開催されるよう、努力しています。

また、私たちは地政学的な宗教紛争を解決し中立的な宗教者を支持し、宗教と信仰の名によって、テロと過激な暴力を行おうとする者たちを孤立させるために、2004年に国連で始まった一連の「超宗教平和カンファレンス」を 神様の恩



賜の中で継続してゆくために、アジア・太平洋と世界の家族と兄弟姉妹たちの積極的な賛同をお願いいたします。

何故ならば、超宗教平和カンファレンスは平和と相互理解の文化を世界に拡散させることに寄与しているからです。

様々な課題と不確実性が世界を覆っている今日、私たちは、国家、大陸、世界の平和という共通の夢と目的を通して、一つになる力を得ることができます。アジアだけでなく、全世界から今回の希望前進大会に参加された皆さまに感謝いたします。

どうか、今日が皆さまにとって素晴らしい一日となり、神様の祝福が皆さまと皆さまの家庭に共にあることを願っております。 

# 青年運動の飛躍のための 2つの任務

ビッキー・メスナー

神ヨーロッパ・チェコCARP 世界平和青年学生連合会長



私の信仰生活の出発は、2年間のヨーロッパSTF活動からでした。STFで私は自分の人生が単純に天の父母様の娘であるということだけが意味を持つのではなく、私の責任もまた重大なものであるということを深く悟りました。2年間の活動を終えて家にもどったころ、私は、チェコCARPと世界平和青年学生連合の会長として働くことを提案されました。私は一国の青年運動に責任を持つ自身がなかったため、その提案を丁寧に断りしようと思っていましたが、天の父母様はいつも具体的な計画を立てて私をみ旨の道に導いてこられたということを感じます。

その日の夜、私はヨーロッパに真のお母様をお迎えする夢を見ました。夢の中で私は、一人でも多くの人を真の父母様の講演に導くために、「メシヤが来られ、み言を下さいます」と叫びながら街頭広報をし、ありがたいことに会場には足の踏み場もないほどの人々が押しかけました。真のお母様のみ言に拍手喝采が送られ、講演を終えられた真のお母様は、私が立っている出口の方に歩いてこられました。ところが、私は自分のゲストたちを目で追うのに必死で、真のお母様が扉の前に着かれたにも関わらず開けて差し上げることができず、お母様はご自身で扉を開けて出ていかれながら、「あなたは今しがたメシヤの道を開く機会を失ってしまった」とおっしゃいました。その瞬間、私は夢から覚め、その夢が何を意味するかを知りました。真の父母様の道を開いて差し上げる機会が与えられたならば、決して躊躇してはいけないということを悟りました。そこで私は、チェコCARPと世界平和青年学生連合の会長を引き受けることを決意し、本格的に公職を出発しました。

## 2つの任務

2つの組織の会長の役割を担うということは、まるで2つの帽子を交互に被る

ような感覚でした。ですが、心構えとしては、同じ仕事であると考えました。国際的な組織であるCARPは、大学のキャンパスを拠点として、青年学生たちが原理講論を中心とし、人生に変化を起こすことができるようサポートします。私にとってCARPは、人々が天の父母様と真の父母様に出会うことができるよう案内する手段でしたが、これは大変な努力を要する仕事でした。一人の青年学生が心から原理を受け入れ、自らの人生を天の父母様のために捧げることができるようにするという事は簡単なことではありません。今日、78億の世界人たちに対してこのような活動を展開することは非常に多くの時間と努力を必要とするため、真のお母様は世界平和青年学生連合を創設されたのだと思います。「人格教育」として原理を教える世界平和青年学生連合は、より多くの人々に普遍的にアプローチする方法で活動しています。私たちは、孤児院訪問、国際家庭交流や奉仕活動、差別化された人格教育などを展開しています。善なる影響力を広めるこのような活動は、真の父母様のビジョンをより多くの人々により早く拡散しています。

誰かが私に、CARPと世界平和青年学生連合のうち、どちらにより愛着があるかと尋ねるとしたら、私はこう答えます。「CARPと世界平和青年学生連合は、互いに協力し、この世界を共に生活できる地上天国としてつくりあげてくれることを願っています」。ありがたいことに、私は青年運動を通して、青年たちの人生を見直すことができました。自らの人生を天の父母様のために捧げる本性をもった青年たち。私はこのような青年の美しさを心から愛しています。

## 青年を生かし、国を救おう

2019年、アルバニアを訪問された真のお母様に霊の娘と共にお会いしました。真のお母様に初めてお会いした霊の娘の目から喜びと感謝の涙があふれ

たその瞬間を思い起こすたびに感動が蘇ります。また、チェコのすべての青年を代表しなくてはならないという私の意思がより強まるのを感じます。困難な仕事ではありますが、間違った価値と理想により苦しんでいる数多くの青年たちを見るたびに、彼らを天の父母様の懐に導きたいという私の夢は膨らみます。私たちの究極的な目的は、「チェコに家庭に神様を再びお迎えすること」です。チェコは、北朝鮮に準ずる無神論国家なので、このような目標は実現不可能であるように感じられます。しかし、ありがたいことに、韓国と日本、アメリカ、ヨーロッパの多くの食口たちの支援のおかげで、私たちは多くの青年に神様の心情と原理のみ言を伝えることができました。

世界平和青年学生連合の活動を通して、祝福家庭の食口だけでなく、より多くの人々の人生に影響を与えることができ、幸せに思います。新型コロナウイルスのパンデミック以前に、最も力を入れて管理していた活動は、先ほども述べたように、孤児院の青年たちを対象として行った活動でした。彼らから感じた喜びと愛を、私たちは決して忘れることができないでしょう。多くの子もたちが、アルコール中毒、家庭内暴力、虐待といった家庭環境によって孤児院で生活しており、私たちは、ゲーム、スポーツ、心情教育など様々な活動を含む「心情文化の夜」(American culture night)の行事を通して、彼らに喜びと愛を伝えました。

驚くべきことは、子どもたちが私たちが与えた以上の愛を返してくれたということです。初めての出会いから私たちは互いの心をつかみました。その瞬間、私は、これはただのイベントや活動ではなく、すべてのことが「心情」であることを知りました。またその日、私は心から互いの目標のために行動を共にし、青年たちを統合していくならば、それがどれほど強い力を発揮するかを知ることができました。



青年たちに深い感銘を与えたホームレスのための奉仕活動。  
青年たちは何時間もその場を離れようとしなかった。

### 貧しい人々のために

2019年の初めに、私たちはホームレスの人たちに服と食事を届ける奉仕活動を2度に渡って行いました。私たちは一軒一軒訪ねながら集めた寄付金と物資を必要な人たちに届けました。一回目の活動では、単純に物質的な支援をただけだったので、私たちは空虚感を覚えました。お腹を空かせたホームレスたちは今日は支援を受けても、明日はまたお腹が空くことになるからです。そこで、二回目の活動では、物質的な支援だけでなく、彼らとコミュニケーションを取るよう努力しました。彼らの話を聞き、希望のメッセージを伝えました。その日、私たちは心から満たされ、この活動の本当の目的を成すことができました。

私たちは午後の間ずっと、路傍で彼らと共に時間を過ごし、各々の個人的な事情はもちろん、人生経験から学んだアドバイスも聞きました。彼らの多くは、これまでの人生を後悔していたため、若い私たちにたくさんの助言をしてくれました。私たちの人生における目標と夢を諦めないことがどれほど重要であり、アルコールやドラッグ、ギャンブル依存症を克服し、真の人間関係を築くことが私たちの人生においていかに大切であるかなどについてでした。人生のどん底まで落ちた彼らのアドバイスを聞きながら、私たちは心情的な涙を流しました。彼らからは良い話も聞きましたが、諦めた夢についての話は胸が痛み、私の人生の目標を叶えたいという意思がより強まりました。

た。私は、このような内容を一人ではなくチームと一緒に聞き、感じる事ができたことを嬉しく思いました。

青年たちは、実際にすべてを変化させる力を持っています。ほんの小さな一歩であっても、他人の人生に変化を与えることができるものです。その日、ホームレスの方たちは、私たちとの別れを惜しがりました。彼らの殆どは、長い間会話をすることもできなかった方々だったからです。彼らは、私たちと一緒に過ごしたことで胸が温まると話してくれました。

私は、CARPと世界平和青年学生連合の活動を通して、多くの驚くべき経験をしたことを光栄に思っています。この証を通して、私は青年たちが責任感をもって生きていくことができるよう激励したいと思います。そして、青年たちに伝えたいです。天の父母様に「今日、私は天の父母様のために何をすることができるでしょうか?」と尋ねてみて下さい。私たちの活動を通して、人々が天の父母様により近づくのを目撃することは、とても光栄なことです。地上天国創建のための聖業に、すべての二世圏が共に参加することを願います。

「真のお母様! ご心配なさらしないで下さい。私たちが天のみ旨を成して差し上げるために最善中の最善を尽くします。常にお守りくださり、愛してくださいありがとうございます。お母様、ありがとうございます。心から愛しています!」

## CARP活動で復帰された霊の子女、ケイト・グエンさんの証

私の祖父は篤実なクリスチャンでした。祖父の献身的な生涯のお陰で、私は幼い頃から自然と信仰をもつようになりました。このような基盤の上に、私は3年前、この教会に入教することができました。私は、「真の愛」が私たちを救うことができると信じます。ありがたいことに、神様の観点で世界を見ることで、私の人生が変わっただけでなく、家族との関係も良くなり、私の中のすべての怒りも消えました。真の愛を実践することで、皆が願う永遠の友情を築き上げていっています。

最近、私は、未来の指導者になるための1年の養成課程を終えて帰ってきました。国のために、世界のために訓練をするためでした。このような私にとって、祝福を伝播することは、とても重要な使命となりました。この使命の勝利のために、私は、CARPと世界平和青年学生連合の活動に邁進し、教会と外部の社会を連結するために情熱を注いでいます。私がそうであったように、このような方法は、青年たちに天の父母様の夢を悟らせ、その夢の主人として生きることができるようにするものであると信じます。

お写真を通してではありますが、真の父母様にお会いするとき、私は実の親のような温かい愛を感じます。私を救ってください、愛して下さる真の父母様に感謝し、毎日毎日、喜びで前進していきます。真の父母様、愛しています!ありがとうございます!

# 希望前進大会勝利のための 神アフリカベナン 神氏族メシヤ活動

神アフリカベナンの「タンボ天一国神氏族メシヤセンター」は  
二度の「100万希望前進大会」を終え、復興の転換点を迎えました。  
極めて枝葉的だった私たちの活動が、「ピースリンク」を通じて  
主流の摂理に触れることができたのです。  
ここでその証をご紹介します。

ローラン・ラドゥーチェ

早朝2時に神氏族メシヤセンターに集まったローランの氏族たち



ローラン、ウマルとファリラト。新しいアパートにて

フランス出身の6,000 双の祝福家庭である。私は、神アフリカ大陸西部の上に位置する人口1200 万の小さな国、ベナンで神氏族メシヤ活動を続けています。本稿で、私はベナンの「タンボ地域」で神氏族メシヤ活動を中心に行われた希望前進大会のニュースをお伝えしたいと思います。

2019 年4 月にオープンした「タンボ天一国神氏族メシヤセンター (HTM センター)」は、ピースリンクプラットフォームを通じて行われた「神統一世界安着のための100 万希望前進大会」によって復興の転換期を迎えました。摂理の第一線でもにすることができる直接的な機会を得ることができたからです。

私たちは、ビジョン2027 まで人類の3 分の1 を復帰しようとされる真のお母様の摂理に、心から共に歩んでまいります。真のお母様のこの切なる願いは、私たちそれぞれの心にも込められています。独り娘として誕生された真のお母様は、この大きな摂理の他に、どんな小さなことに気を留めることができるでしょうか。人類を救おうとされる天の父母様の意志が、すなわち真のお母様の意志で

あることを感じます。「神は、すべての人が救われて、真理を認識するようになることを望んでおられます。」(テモテへの手紙一2 章4 節)と伝えた聖句のように、天の父母様の心情は忍耐と渴望で沸き立っています。今や世界はパンデミックに包まれており、すべてが遅く動いています。天の父母様の心情と事情にもっと近づかなければならない時なのです。

ペトロの手紙二3 章9 節には「ある人たちは遅いと思っていますが、主は約束を遅らせているのではありません。一人も滅びないで、すべての人が悔い改めるように望み、あなたがたのために忍耐しておられるのです。」と記録されています。希望前進大会は、このような天の父母様の心情を伝える良い機会なのです。特に、断絶と隔離の時代に、各自の家でスマートフォンとタブレットを通じて天の父母様の愛を経験できるようになることで、私達の情熱は伝染病の影響圏から脱することができました。天の父母様は、過去や未来ではなく、現在を切望しておられます。天の父母様が望むものがあるとすれば、それはまさに78 億の地上の人類と全霊界の救援でしょう。

神氏族メシヤとは、天の父母様の神聖さを持つ氏族メシヤになることを意味します。私たちは、天の父母様に代わった天一国の神氏族メシヤとして、人類救援のための摂理の場である希望前進大会に、新たな命を接ぎ木しなければなりません。真のお母様は全世界がパンデミックに呻いているこの時、人類が何に中心を置くべきかを教えて下さり、このような生命のみ言は、飛躍的な技術の進歩によって、五色人種、世界の人々に響き渡っていったのです。

### 成功と希望の夜

第1 次希望前進大会が開催される3 週間前、テレビ会議が行われました。エマニュエル・オルゴン ベナン家庭連合会長が神氏族メシヤたちに尋ねまし

た。「夜中の2 時、いやそれよりもっと遅い時間に希望前進大会が開催されたら、参加者を参加させることができますか?」という質問でした。実際、韓国との時差により、アフリカ大陸で大会が行われた時刻は深夜1 時から4 時までの深夜でした。私のすべてを捧げること以外に他の選択肢がないと感じた私は「少なくとも43 人をHTM センターに連れて来ます」と答えました。

結果的に、天の父母様の役事により、タンボ HTM センターには51 名の新規メンバーが集まりました。彼らが天の父母様の息子であり、娘として一緒に夜を明かしたということは、奇跡のようなことでした。田舎から来た素朴な人たちはこの日、新たな夢とビジョンに目覚めることができました。

ベナンと同じく西アフリカ経済共同体 (ECOWAS) に属するセネガルのマッキー・サル大統領と、ニジェールのブリジ・ラフィニ首相が出てきた時、彼らは大きく鼓舞され、平和の母、真のお母様のみ言には大きな感動を受けました。

第2 回希望前進大会には43 人の新規メンバーが参加しました。タンボ地域は識字率が低い地域ですが、第1 回大会の経験をもとに青年学生の誘致に力を注ぎ、15 人の優秀な青年学生を参加させることができました。我々は希望前進大会を「成功と希望の夜」と言うことができました。第1 回大会でもそうだったように、晩餐会を開きながら連帯感を持って「神氏族証し会」を開き、希望的な証を共有しました。その後、センターで休息を取った後、深夜に行われた大会を共に視聴しました。

### 式典行事となった「神氏族証し会」

本式に先立って行われた「神氏族証し会」は、参加者が本大会に参加できる雰囲気盛り上げました。参加者に天一国の文化を示し、実際の生活を証しすることで、彼らに強い動機と確信を与えました。「天の父母様を中心とした

祝福家庭のビジョン」をテーマに発表された私たち氏族の証をお聞かせしようと思います。

最初の物語はウマルとパリーラス夫婦の物語です。イスラム信仰者である夫婦は、ベナンで差別を受けているプーラ族出身であるにもかかわらず、夫のウマルは、タンボの名門数学物理学研究所(IMSP)で数学博士課程を運営している優秀な人材です。数学物理学研究所は、HTM センターからわずか2マイル離れたベナン最高の研究機関ですが、私はタンボで430組の祝福を完了し、1年後に彼に初めて会いました。

ある日の午後4時、一人でセンターを守るために小腹が空いたと感じた私はドーナツを買うために外出しました。ただ空腹をしのぐだけの外出でしたが、思いがけない縁で会うことができました。私はドーナツを買っていた賢い印象の青年に、笑顔で挨拶しました。「数学物理学研究所の学生でしょう？」この偶然の出会いが縁になり、翌日彼はセンターを訪問しました。

「数学の神聖さについて話してください。1から10までの数字が平和構築とどのように関連しているのか教えてあげます。」私は彼の専攻分野に関する話で対話の扉を開きました。話がよく通じることになりましたが、ウマルは興味深く傾聴し、その日を境に本格的な原理の勉強に突入しました。私がフランスに帰っていた時も、彼は私と連絡を取り合い、原理の勉強を続け、ついに2020年2月、彼は妻であるパリーラスと聖なる祝福の場に参加しました。

彼らは40日の聖別期間と3日行事を精誠で終えて、2歳の息子アル・アシドと一緒に、ベナンに帰ってきた私の元を訪ねました。夫婦は幸せそうに見えましたが、妻のパリーラスは、二つの願いがあると話し始めました。「私はタンボを離れてもっとよいところに引っ越したいです。そして職に就きたいです。夫の給料だけに頼らなくてもよい、私だけの取

入があればいいのですが」と、彼女はイスラム女性を包むヒジャブをかぶり、明るい笑顔を見せていました。イスラム女性には多くの社会的制約があったので、彼女は心に留めていた願いを打ち明けたのです。妻の突然の宣言に、ウマルは急にしょんぼりした様子で、一瞬の静けさが流れました。私は静寂を破って、テーブルの下に動物のように這って下りていきました。それからまたテーブルの上に上がって、二人を眺めました。「お父さん!どういう意味ですか?」私を霊の父と信じて従うようになったウマルが尋ね、私はその問いに答えました。「あなたは妻が暗闇の中で縮まっているのが好きですか、明るい所で自由に行っているのが好きですか?」

「もちろん後者です。一番明るいところで幸せになってほしいです。」

「そしたら、タンボを離れて、妻が職を見つけられるようにしてあげなさい。あなたの妻を二倍幸せにしてあげなさい」

会話をしてから3日後に、ウマルから電話がかかってきました。

「お父さん、私たちもう引越しました!」

「何だって?」

「はい、父の助言を聞いて私たちはもっといいアパートを見つけました。もともとの家より二倍高いけど、パリアスがとて気に入っています。」

たった24時間で、それも日曜日に、彼らは既存の家の契約を解除して、新しい家を探して引っ越しを終えたのです。まるで童話やドラマに出てきそうな話のようでした。夫婦にとって、天の父母様を中心とした祝福家庭としての新たな出発は、幸せの視野を広げる新たな転換点となりました。嬉しい知らせを聞いた私はすぐ新しい家に行き、聖別と共に祝福を捧げました。数週間後にはウマルが家の近くに妻が働ける店を用意することで、妻の二つの願いが叶えられました。このようにお互いを尊重し合った夫婦のラブストーリーは、希望前進大会の参加者たちを感動させました。

## 天の父母様を中心とした祝福家庭のビジョン

次の講演者はビクトールとフェルミネ夫妻です。彼らはタンボ地域で祝福を受けた最初の夫婦で、40日の聖別期間と3日行事を終えました。伝統医療にかなりの才能があった夫のビクトールは、祝式の後、タンボ市内から8マイル離れた素敵な建物に明るく現代的な病院を開院して診療を始めました。ところが、妻のフェルミネが流産したことで、若い夫婦に大きな試練が訪れました。夫婦は天の父母様の愛の中で困難を乗り越え、元気な男の子を出産することができたという内容を証しし、皆を感動させました。

この2つの証しを通じて、我々は「幸せな人生」が何によって決まるのかを伝えました。2カップルとも「ビジョン」があり、天の父母様を中心とした祝福家庭という「価値観」をもとに試練を乗り越え、幸せを築きました。彼らは新しい人生を出発することができた祝福によって、より大きな幸せを実現することができたのです。

残念ながら本大会では私は母国のフランスからの参加で、ベナンのニュースをリアルタイムで共有しました。大会を視聴する参加者たちの真剣な表情と態度に感動し、特に真のお母様のみ言を傾聴する新規メンバーたちの姿に大きな喜びを感じました。大規模な大会を準備することは非常に大変なことですが、それを土台に新たな生命が目覚めることは何ものとも比較できない喜びを感じることができます。

タンボ HTM センターでは、第1回と第2回希望前進大会を通じて連結された新規メンバーとの交流が持続的に行われており、いつにも増して深い精誠と愛の中で、8組の家庭が祝福を受け、40日の聖別と3日行事を無事終えることができました。ピースリンクを通じた、「神統一世界安着のための100万希望前進大会」はタンボ地域の神氏族メシヤ活動の復興の転換点となっています。🔗

# 真の父母様が明らかにされた、 武道の価値

誠道苑 | 世界平和武道連合事務総長

敬愛する天一國祝福家庭の皆様、新型コロナウイルスパンデミックの影響で身の周りの環境が大きく変化し、礼拝も満足に行えず、何かと御不便を感じながら日々の生活を過ごされているのでは無いでしょうか?しかしこの様な時だからこそ、我々世界平和武道連合も、より強く逞しく活動を行っていきべきだと考えています。当然、武道という身体的な活動をコンテンツの中心に置く我々は、対面形式での教育や活動が自粛あるいは禁止となる社会的情勢の中では、他の団体に比べても特に大きく不利な状況となりました。

その様な中、考え出されたのがオンラインによる統一武道「本 (Bon)」大会です。ここで言う「本 (Bon)」とは、本然と見本、模範を意味します。また空手における「形 (Kata)」の事であり、つまりは一人で行う演武形式の練習法の事です。これは対戦相手を必要とする試合形式の大会と違い、一人あるいは一団体で行う事ができるので、オンラインでの大会が可能となります。

この大会には、韓国、日本、アメリカ、フィリピン、カンボジア、ネパール、タイ、

インド、アルゼンチン、マレーシア、ドイツ、ブラジル、ザンビア、コンゴ共和国の、計14ヶ国から70名の選手が参加し、成功裏に開催されました。

## オンラインで開催された、統一武道「キチュム」大会

統一武道「本 (Bon)」大会の成功を受け、続けて8月2日から10日の期間には「キチュム」大会を行いました。これも「本」大会と似ていますが、より芸術に重きを置いた演武を行う大会で、ダンス・コンテストに似ています。この大会には、韓国、日本、フィリピン、カンボジア、タイ、マレーシア、ブラジル、コンゴ共和国の8ヶ国から9団体が参加しました。この大会は真の父母様のみ言によって企画されました。

『体育と芸術を一体化させる事が先生の計画です。踊りと歌が、運動と一つになります。ですから体操式の運動ではありません。音楽と合わせた舞踏式の体操形態をつくるのです。体育と芸術が一つに合わさる為に運動をするのです。』

そこに神様の思想が入って行くのです』  
(295-165 1988.8.19)

この様な真の父母様の御言葉を基礎に置き、体育と芸術の一体化、つまり心情文化、孝情文化の一翼を担う新分野として孝情文和苑と世界平和武道連合が後援し、世界統一武道連盟が主体となって開拓を始めました。大会の結果は、1位が日本チーム、2位が韓国チーム、3位がコンゴチームとなりました。

この「キチュム」大会で、武道と音楽が合わさった演武を通して、天の父母様の願いと、真の父母様の勝利と希望、前進を、各参加選手達が表現しました。また、国ごとに違った文化的な特性を見せながらも、選手達は芸術的パフォーマンスと共に、統一武道の「キチュム」を通して、体育と芸術の一体化して行く姿を見せてくれました。この大会は世界統一武道の選手達が、文化と国境を乗り越えて、天の父母様と真の父母様を中心に、平和世界の実現に向けて、希望が見える大会となりました。



真のお母様の前で統一武道の演武を披露する武道家たち



演武は接戦というより舞踊に近いが、観客の前で、また真のお母様が見守る中で演武をすることで、武道家たちは技を磨くことができる

武道家が心に刻むべき、新たな哲学  
私は、武道摂理の第一線で、既に20年以上活動してきました。摂理の祖国、韓国に来た留学生達、鮮鶴UPAの宇宙平和士官生徒に武道を教え、また地元の教会でも武道を教える来ました。そこで教える様になる前、それまでの私は、鮮文大学の武道学科で学んだ事だけではなく、数多くの尊敬する武道師範達に弟子入りし、選り好みせずに縁のあった武道は全て一先ずは学んでみるという修行者の姿勢を貫いていました。そもそも、設立当初の鮮文大学武道学科では、テコンドーや柔道、剣道、合気道といった自分の専攻分野だけではなく、副専攻として専門外の武道も学ぶという教育方針でしたし、最高の武道を追い求めようとする姿勢と確かな覚悟の前では、たった一つの武道だけに拘るといって、視野狭窄や執着はありませんでした。  
統一武道連盟の設立者である石竣昊先生と初めてお会いした時に、私のこの様な武道履歴を申し上げた所、「君は信仰もあるのです、それは既に統一武道を学んで来たのと同じだ」と仰って下さい

ました。また 石竣昊先生は「統一武道は全ての武道を、統一原理を中心に和合統一する武道であると同時に、謙遜な立場で全ての武道から学ぶべき立場にもある」と語られています。  
これまで、武道摂理の中心となる武道は、空手から正道術、圓和道そして統一武道へと、常に移り変わって来ました。その様な歴史の変遷の中で、武道摂理に従事して来た先輩方は、自分が全てを投げ捨てて打ち込んで、汗水を流して必死に学んできた武道と、真の父母様に対する信仰との間で揺れ動き、葛藤せざるを得ませんでした。その様な中で、統一武道が40周年記念を迎えた2019年、真の父母様から新たに御言葉を賜りました。  
『ですから、真の父母の在世時に、何とかして一人でも多くの民族、一人でも多くの生命を、天の父母様の前に真なる孝子・孝女として祝福を受ける位置に導きたいという切なる思い一つで、統一武道を作りました』(2019.8.28 世界統一武道連盟創立40周年記念式)

この御言葉は、天一国安着の時代の指針であり根拠であると共に、これまでの武道摂理が導き出した一つの結果であると考えています。また、この日の御言葉で、武道に関する新たな哲学が真の父母様から提示されました。これは本当に衝撃的であると同時に、真理であると確信しました。  
『心の願う通りに体が共に為す事ができません。自分の個体の心と体すら一つにできない位置で、家庭と民族と世界を一つにするということは、本当に大変なことです。しかし私たちは、天の父母様、創造主・神様を知っています。真の父母様が私たちの真の父母であることを知っています。  
皆さんの大半は祝福を受けたことと思います。祝福家庭としての責任がありません。真の父母と絶対的に一つとなった位置が、皆さんの心と体が統一された位置です』(2019.8.28 世界統一武道連盟創立40周年記念式)  
つまり、真の父母様を抜きにして、心



世界統一武道連盟創立40周年記念式で、参加者たちと記念撮影をともにくださった真のお母様

と体の統一をどれだけ主張しても、それは真の意味では為されないという事なのです。これは今まで心身統一という分野で抜きんできたノウハウを持って居ると自負して来た武道家達の傲慢や、考え違いの鼻っ柱を叩き折るには十分過ぎると思います。これは、心身統一に関する新しい概念の提示であり、パラダイムシフトが起きる程の出来事でした。

また、この様な観点から今までの武道摂理史を振り返ってみる時に、どれだけ個人的に優れた武道の達人で、円満な人格者であっても、結局は真の父母様と絶対的に一つになっているか否かが全ての分かれ目であった事を、我々は反省と共に思い知る事ができます。

### 真の父母様に喜びを捧げた思い出

今年は真のお父様の天宙聖和8周年となりますが、聖和される約一年前、麗水の海洋修練院での訓読会の時に、私は真のお父様から指名されて演武を披露させて頂いた事があります。その時、私は失礼ながらも、道着も音響も何もない状態だったので、歌に合わせてやりたいとお父様に願い出たのでした。お父様は「歌をしなきゃいけないのか？」と念を押されましたが、私は「はい、歌に合わせてやります！」と大きな声で申し上げました。するとお父様は快諾して下さい、皆手拍子でアランを歌い、私はその歌に合わせて、演武を行いました。

これもまた「キチュム」であったと、今なら言う事ができます。その後、お父様は武道について熱く実演や動作を交えながら武道について語って下さり、この時に私の中では武道の絶対的な必要性を感じると共に、その価値の高さを改めて認識しました。何故なら、お父様は机を手拍子に叩きながら、本当に嬉しそうな表情で話しておられたからです。

私の様な未熟者の演武で、これだけ喜んで頂けるのであれば、これをもっと若い祝福された二世三世の子女達が演武してみせたなら、どれだけ天の父母様と真の父母様に喜んで頂けるのだろうか？これが私が武道を学び、また子供達に教える理由の根幹となっています。

我々、世界平和武道連合は、真のお父様が聖和された後、毎年この時期には必ず武道祝典を開いて参りました。それは統一武道だけでなく、テコンドーや、柔道、その他の武道団体にも広く声を掛けて行くものでした。そもそも、世界平和武道連合に与えられた使命は、天一國創建に向けた武道を通じた幅広い活動にあります。

### 神統一世界安着のための武道摂理

武道摂理のために「世界平和武道連合」と「世界統一武道連盟」という2つの団体が活動していますが、あまり御存知ではない読者の方々のために、

この場を借りて少しご説明させていただきます。

1997年に真の父母様のみ言により設立された「世界平和武道連合」の使命は、様々な武道活動を通じた、天一國創建にあります。簡潔に言い表す為に「武道UN」という表現を用いる事もあります。神統一世界安着のために、世界平和武道連合は本連合と歩調を合わせ、世界平和に貢献しようという武道団体を積極的に発掘していきます。

昨年40年を迎えた、「世界統一武道連盟」は空手や柔道の様に、統一武道という武道種目を公式化した法人団体で、石峻昊博士によって設立されました。「世界統一武道連盟」は「世界平和武道連合」の傘下にある数多くある武道団体の内の一つとして活動しています。真の父母様は、『真の父母と絶対的に一つとなった位置が、皆さんの心と体が統一された位置です』と語られたように、世界統一武道連盟は真の父母様の御写真を道場に飾り、「鍛錬勇進」や「忠孝之道萬勝之道：(すべてを忠孝の心、すなわち真の父母様と国を思う気持ちで行えば、いつも勝利することができる)」といった真の父母様から頂いた揮毫を掲げ、運動の前には敬礼とみ言訓読を實踐して、真の父母様を正々堂々証す武道団体として活動しています。今まで、数多くの武道人や武道団体が、天の父母様の願いに応える事ができずに来た中で、統一武道は、天の父母様の夢を叶えて差し上げるために前進しています。

どんな時代、どんな環境にあっても常にパワフルで前に進む事のできるエネルギーに満ちた武道人は、これからの時代を担う孝情郎の先鋒として、必須の人材となるでしょう。願わくば、各教会でも武道教育が、一日でも早く普及することを願い、天の父母様と真の父母様が本然の武道を通して叶えようとする意志を受け継ぎ、その願われた使命を果たすことができるように努力し、前進いたします。🙏

# 聖歌・讃美歌のルーツを探る

天野照枝(777双) | 神日本 聖歌編纂委員



この記事を通して音楽への情熱と音楽から受ける愛を表現する著者

## 成約聖歌は天の宝物

宗教史において、絵画や建築は素晴らしい有形の遺産として残されていますが、音楽は無形の遺産として受け継がれてきた、そのつど表現される、目に見えない芸術です。ゆえに一層、不可

視的な霊界との交流を体験することができ、人々の信仰生活を支える役割を果たしてきました。

聖書には、サウルが悪霊に悩まされて錯乱状態になったとき、ダビデが琴を弾いてそれを鎮めたという記録が残されています(サムエル上一六・23)。また、「音楽は神の賜物であり、恵みであり、悪魔を追い払い、全ての人に怒りを忘れさせる」(マルティン・ルター)とあるように、音楽は聖なる霊界に通じる力を持ち、悪魔の力を切ることができるのです。

特に成約聖歌は、神と真の父母様が歩まれた道と聖徒たちの歴史が刻まれている天の宝物です。その歌が作られたり、歌い継がれたりするときの感動が、霊界にエネルギーとしてそっくり残っています。私たちが地上で感動をもって歌うとき、天使や善なる天界が喜んで降りてきて共に歌うという驚くべき恩恵があります。

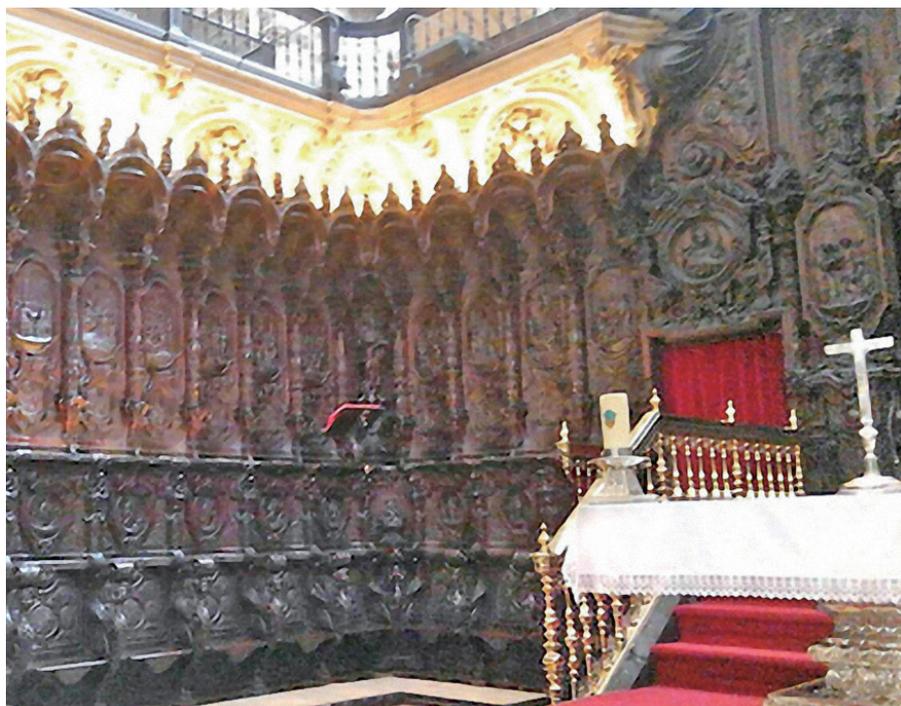
草創期に伝道された千鶴子・ラニヨンさん(旧姓、春日)は、真のお父様を日本にお迎えして「栄光の賜物」を歌ったとき、その場に聖人や殉教者たち

をはじめとする霊界のクリスチャンの群れが集まって、涙を流しながら共に歌っている姿をまざまざと見せられたそうです。まさに、「わたしたちは、このような多くの証人に雲のように囲まれているのである」(ヘブル一・1)という聖句のとおりです。

天寶役事でも、勝利の霊界が開けた喜びの歌である「聖苑のめぐみ」を歌いながら、そのリズムで善なる霊界への扉を開けていきます。

音楽は見えない世界と密接につながっています。霊界からの音楽を聞いてそれを表現したのが、音楽史上に燦然と輝く「楽聖」と呼ばれる人々です。今も霊界では、名曲や優れた詩が次々と生み出されているそうです。そして、「地上でそれを受け止めて表現できる人を探して、教育し、訓練する」という使命を持った部署まで存在すると聞いたことがあります。皆様の中にも、そういう訓練を受けている方がおられるかもしれません。

一九七八年、真のお父様が「演奏して拍手を受けても、成功したと喜んで躍り上がりてはいけません。全ての聴衆の



聖歌隊席は天使の席として尊ばれた。写真はスペイン、コルドバの聖マリア大聖堂。一つ一つ異なる聖書の物語を彫刻し、12年かけて作られた聖歌隊席

歓声を霊界に入った専門家たちに返せ」というお話をなさいました。演奏家、芸術家にとっては驚くような話です。ルターが言うように、まさに「音楽は神の賜物」なのです。

### 聖歌・讃美歌のルーツ、「詩篇」

音楽にはそのように神聖で神秘的な力があるうえに、聖歌・讃美歌には言霊が入ります。

聖歌・讃美歌に入る言霊は、旧約聖書の「詩篇」が起源となっています。

詩篇は、個人の嘆きや生活の中で感じた感謝や喜び、王の即位、民族の苦しみなどが百五十篇にわたってつづられています。長い年月、多くの作者によって作られ、詠唱という形で暗記されながら、神に導かれた民族の魂を伝えてきました。

詩篇を読んでいくと、限りなく人間の視点に近いところから始まることが多いのに驚かされます。皆様は、あまりに素直な詩篇の言葉に、「こう祈ってもいいの？」とびっくりしたことはありませんか？ 素直に、ありのままの自分を隠すことなく、悲しみや苦しみを神に向か

って訴えています。幼い子供が困ったときに、必死に父や母を呼ぶような言葉です。

そしてなんと、その叫びに応じて神が歩まれた歴史が現れるのです。そのとき、神の声を聞き、神の歴史を見つめた人間は心を碎かれます。そして再び、神と共に生きる力を得て歩き出すことができますのです。

これは人間の魂が引き上げられる、霊的勝利の道筋を示しています。サタン分別の闘いを通して神に至る道が、聖歌や讃美歌のルーツなのです。

このように、聖歌の原型である詩篇は、人に聞かせるという以上に、神に捧げられる供え物であり、動物の燔祭を超えるため、「讃美のいけにえ」と表現されています。

### 詩篇を歌うことは「神事」であり、神に帰る霊的格闘

この詩篇の代名詞のように言われているのがダビデです。ダビデの願いはただ一つ、「主の臨在こそわが生命」でした。彼はひたすら、神がおられる礼拝を願ったのです。そこで、モーセの時代には

なかった「音楽を伴った讃美」を取り入れ、礼拝の大改革を図りました。さまざまな楽器を用いたり、優れた聖歌隊をつくったりしたのです。

バビロン捕囚までは、主にレビ族が礼拝で讃美する責任を担いました。レビ族からはモーセとその兄アロンが出ています。つまり、出エジプトを成し遂げた系譜です。荒野でイスラエル民族が不信して金の子牛を作ったとき、レビ族は信仰を立てて、神に愛されました。

聖歌隊の代表者の一人として、ダビデに任命されたレビ族アサフの名前が出てきます。その後、アサフの子孫が礼拝の讃美を導くようになったようです。聖歌隊の大先祖です。

古代ヘブライ語を研究している方の話を聞くと、どれほど精誠を尽くして聖歌隊を育てたのだろうかと思います。

三万八千人のレビ族の中から四千人が讃美のために選抜されました。その中から厳選された二百八十八人の讃美奉仕者が、十二人ずつ二十四組に分かれて、神殿の中で二十四時間絶え間なく、契約の箱に向かって心を注ぎ、神を讃美したと言われます。



霊界の音楽は一方から聞こえてくるのではなく全体から聞こえてくると証言する人の情報から、それを再現するために壁全体を使うパイプオルガンが作られたという説がある

彼らには、心（霊性）と声（表現）を一つにすることが求められ、訓練を受けました。ダビデ・ソロモン時代には、聖歌隊で奉仕できるのはこの訓練が実を結んだ三十歳からだったそうです。

レビ族には土地などの嗣業がなく、「主に仕えること」が嗣業だったのです。詩篇を歌うことは、優れた供え物としての「神事」であり、真剣な祈りでした。神に帰っていく霊的な格闘だったのです。

初代教会（エクレシア）は、詩篇を歌い継ぎ、そこにイエス様の物語を加えていきました。苦難のときも、殉教の場にも、聖歌や讃美歌は共にありました。イエス様はゲツセマネの徹夜祈禱に出發される前に、詩篇を讃美されました。また、十字架上でさえも詩篇二十二章の冒頭の言葉を叫ばれたことを知ることができます。

十字架上での「エリ、エリ、レマ、サバクタニ（わが神、わが神、なにゆえわたしを捨てられるのですか）」（詩篇二二・1）は、神に見捨てられた悲しみを訴えたと言われますが、そうではありません。二十二章全体を見れば、最後には神の栄光が輝いています。再臨

基台をつくるために十字架の苦難を超えて霊界に出發され、今も全力を尽くしておられるイエス様の思いを知ろうではありませんか。

#### ユダヤ教、キリスト教から家庭連合に引き継がれた音楽と言葉

聖歌・讃美歌に込められた音楽と言葉。その励ましは神の摂理を担ってきた「中心宗教」であるユダヤ教からキリスト教に継承され、家庭連合の新しい歴史を迎えたこの時、私たちの手に渡されたのです。

家庭連合においても、十年の聖歌隊コンクールの実績ができました。エンターテインメントのジャンルではなく、聖歌隊を育てるためのコンクールをしている団体はめったにありません。こういう時代が来たことを、担当の方々に感謝するばかりです。継続していくことは、まさに祈りの業です。

神霊が降り立つ祭壇のための聖歌隊！それが生まれつつあることは私たちの誇りであり、注意深く育てていかななくてはならない希望でもあります。優れた教会には、優れた礼拝と優れた聖歌隊があ

ることが多いからです。

なお、エンターテインメントではない「礼拝」で、代表報告祈禱などの背後にピアノ演奏やBGMを入れることは、本来はありえないことです。この点は、徐々に改善しなくてはならないでしょう。真の父母様の祈りにピアノ伴奏を入れるだろうかと考えれば、分かることです。

これは、日本では草創期に民家などで礼拝をしていたので周りの生活音を打ち消すため、または修練会などに参加した、祈りが初めての方のために、祈れる雰囲気をつくらうとして始めたことなのです。

しかし、「祈りの僕」としての音楽ではなく、今や習慣のように旋律が聞こえるような弾き方になってしまいました。そうすると、意識が旋律を追ってしまい、祈りの共鳴圏がつかれません。これをなくすと一時期は物足りないかもしれませんが、真のお父様が「祈りは自分の祈禱を聞きながら、神からの反響を聞く」とおっしゃったこともあるように、ピアノの音が入らない祈りにだんだん慣れていきたいものです。ただ全体祈禱などは、この限りではありません。

深い祈りの根を持ち、神と共に生きた人々の思いを伝えてきた物語を訪ねることは、川の源流をたどる旅に似ています。流れの元には尽きることのない源があります。信仰もまた、そのような源を自分の中に持つことができれば、どれほど幸いなことでしょうか。

これからも聖歌は歌い続けられ、新しい讃美の歌が生まれ続けることでしょう。それらの感動は血脈となって私たちを力づけてくれます。それは個人と全体の祈りを助け、礼拝を豊かにし、新しい文化に命の水を注いでくれることでしょう。

私たちは愛に帰るために歌います。どうか、大いなる天の力と一つにさせてください。🔮

本記事は世界家庭 2020年2月号に掲載された記事から抜粋させていただきました。

